

日本フラワービジネス大賞2018の概要と受賞者決定

一般財団法人日本花普及センター、日本花き取引コード普及促進協議会及びジャパンフラワーセレクション実行協議会は、花き業界関係者の幅広い参加協力を得て、平成18年から、①花きの新品種の開発・導入及び活用・普及について多大な貢献や先駆的な役割を担った者、②花きの流通・販売面で新技術の開発・導入や新たな需要開発に多大な貢献や先駆的な役割を担った者、③我が国花き産業の新たな課題について意欲的に取り組んでいる者（民間企業、試験研究機関、各種団体あるいは個人等）を選考・表彰しています。

今年、日本花き取引コード管理委員会での事前検討に基づき、平成30年11月20日（火）に日本フラワービジネス大賞選考委員会（参考1参照）を開催して最終選考を行い、日本フラワービジネス大賞2018の受賞者（別紙1参照）を決定しました。

また、授賞式と受賞者による特別講演については、以下のとおり、平成30年12月5日（水）に、ジャパンフラワーセレクションの日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2018の授賞式と併せて実施します。

（参考1） 日本フラワービジネス大賞選考委員会委員名簿（順不同）

（氏名）	（所属名・役職名等）
委員長 福永哲也	一般社団法人日本花き卸売市場協会 会長 （豊明花き株式会社 代表取締役）
副委員長 安藤敏夫	千葉大学 名誉教授
委員 土井元章	京都大学大学院 教授
委員 飯塚 勲	一般財団法人日本花普及センター 顧問 （元 株式会社サカタのタネ 常務取締役 国内営業本部長）
委員 長岡 求	株式会社フラワーオークションジャパン 取締役
委員 秋田洋子	前一般社団法人JFTD 理事（株式会社はなや 代表取締役）
委員 金澤美浩	全国新品種育成者の会 会長（有限会社矢祭園芸 代表取締役）

（参考2） 日本フラワービジネス大賞2018等の授賞式及び特別講演会の開催日程

日時： 平成30年12月5日（水）13:00～ 18:00

会場： 東京大学弥生講堂 一条ホール（東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内）

参加者： 花き業界関係者 約150名

特別ゲスト： 小里泰弘農林水産副大臣夫人 小里祐子 様（受賞者からの花の贈呈と記念写真撮影）

（問い合わせ先）

一般財団法人日本花普及センター 専務理事兼事務局長 西岸芳雄

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

TEL： 03-3664-8739 FAX： 03-3664-8743

E-mail： jfpc@jfpc.or.jp http：//www.jfpc.or.jp

日本フラワービジネス大賞2018(第13回)の受賞者一覧

年次	部門	受賞候補者	受賞内容
2018 (13回)	育種・生産 部門	みなみ信州農業協同組合 花き部会 (JAみなみ信州花き部会) (部会長 井原吉博) 平成10年 設立 (長野県)	標高400m~1000m以上の標高差を活かし、200品目を越える多彩な草花・花木類の産地形成し、高品質で安定出荷できる産地を形成。 特に、近年、需要が拡大しているダリアに着目し、ダリア専門班が、開花試験圃場による地域に適した品種の選定、母株圃での増殖、鮮度保持剤の試験等を産地として組織的に行うとともに、地域の気象条件を活かして周年栽培体制を確立して、日本一のダリア産地を形成。 (生産額 平成29年度 約5億6千万円 うち ダリア 約1億7千万円)
	流通・販売 部門	茨城花き流通センター 農業協同組合 (理事長 長谷川重幸) 平成8年 設立 (茨城県)	組合員が共同で花き(鉢物)の流通の合理化を図るため、平成10年度に花きの集荷場施設(茨城花き流通センター)を建設し、県下一元集出荷へと流通の効率化を図り、同時に「生産者⇒茨城花き流通センター⇒市場」を結ぶコンピュータネットワークを構築して、情報取引への対応を図った。 特に、EDIシステムの一環として、組合員の個々の生産出荷計画(6ヶ月以上先まで閲覧可能)を各市場および量販店・ホームセンター等へ提供することにより、「仕入れ・販売計画」に活用してもらい、組合員の計画的な生産・出荷・販売に繋げている。 (組合員 設立当初58名→平成30年8月現在98名)
	チャレンジ 部門	臨海副都心「花と緑」の イベント実行委員会 (委員長 小幡和輝) 平成25年 設立 (東京都)	2020年東京オリンピック・パラリンピックの競技会場が多く立地する臨海副都心地域において、真夏に満開となるサマーガーデンを造り、その技術を蓄積して本大会開催に向け国内外へ情報発信するため、平成26年度から「臨海副都心花と緑のおもてなしプロジェクト」に取り組み、①夏場の過酷な生育環境に対し、適合した品目・品種を選定するための育成試験を行うトライアルガーデン、②種苗会社等が推奨する品種を活用し、夏花の利用方法等を提案・アピールする修景ガーデン等を実施。 また、これまでの成果を普及するため、花き業界や造園業界等に呼びかけて勉強会の開催、マニュアルの作成等にも取り組む。

これまでの日本フラワービジネス大賞の受賞者一覧

年次	部門	受賞者
2017 (12回)	育種・生産部門	島根県農業技術センター (所長 吉田政昭) (島根県)
	流通・販売部門	株式会社メルシーフラワー (代表取締役 大間岩男) (神奈川県)
	チャレンジ部門	一般社団法人花いけジャパンプロジェクト (代表理事 日向雄一郎) (東京都)
2016 (11回)	育種・生産部門	福岡県花き園芸連合会新品種審査会 (主催者：福岡県花き園芸連合会 会長 原 坦利) (福岡県)
	流通・販売部門	静岡県東部花き流通センター農業協同組合 (代表者：代表理事組合長 内藤宗尊) (静岡県)
	チャレンジ部門	あしかがフラワーパーク (運営会社：株式会社足利フラワーリゾート 代表取締役社長 早川慶治郎) (栃木県)
2015 (10回)	育種・生産部門	国営越後丘陵公園「国際香りのばら新品種コンクール」運営委員会 (運営委員長 石川直樹) (新潟県)
	流通・販売部門	長崎県花き振興協議会 (会長 矢竹友喜) (長崎県)
	チャレンジ部門	花の国日本協議会静岡連合 (会長 坂本吉弘) (静岡県)
2014 (9回)	育種・生産部門	富山県花卉球根農業協同組合 (代表理事組合長 清都和文) (富山県)
	流通・販売部門	株式会社なにわ花いちば (代表取締役 大西 進) (大阪府)
	チャレンジ部門	「みやざき花で彩る未来」推進協議会 (会長 松本拓真) (宮崎県)
	東日本大震災復興 特別賞	特定非営利活動法人 Green Fields (理事長 吉川三枝子) (岩手県)
2013 (8回)	育種・生産部門	株式会社サカタのタネ (代表取締役社長 坂田 宏) (神奈川県)
	流通・販売部門	株式会社ユニバーサル園芸社 (代表取締役社長 森坂拓実) (大阪府)
	チャレンジ部門	フラワートライアルジャパン実行委員会 (実行委員長 景山英治) (長野県・山梨県)
	東日本大震災復興 特別賞	花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会 (委員長 鎌田秀夫) (宮城県)

2012 (7回)	育種・生産部門	株式会社河野メリクロン (代表取締役社長 河野通郎) (徳島県)
	流通・販売部門	株式会社ハルディン (代表取締役 篠原 茂) (千葉県)
		株式会社ユー花園 (代表取締役会長 山田祐也、代表取締役社長 山田大平) (東京都)
チャレンジ部門	フラワーバレンタイン推進委員会 (会長 井上英明) (東京都)	
2011 (6回)	育種・生産部門	株式会社クロカワストック (代表取締役 黒川 幹) (千葉県)
	流通・販売部門	岐阜花き流通センター農業協同組合 (代表理事組合長 加藤孝義) (岐阜県)
	チャレンジ部門	日本クリスマスローズ協会 (会長 畑中孝晴) (東京都)
2010 (5回)	育種・生産部門	有限会社角田ナーセリー (代表取締役 角田 篤) (愛知県)
	育種・生産部門	J Aとぴあ浜松 浜松PCガーベラ (部会長 中嶋宗一) (静岡県)
	チャレンジ部門	ちば花と緑の会 (代表 前林健一) (千葉県)
2009 (4回)	育種・生産部門	草野修一氏 (有限会社綾園芸 代表) (宮崎県)
	流通・販売部門	株式会社ジョイフル本田 (代表取締役社長 小平 武 取締役名誉会長 本田昌也) (茨城県)
2008 (3回)	育種・生産部門	鷲澤幸治 (秋田国際ダリア園 園長) (秋田県)
	流通・販売部門	群馬県あじさい研究会 (群馬県)
2007 (2回)	育種・生産部門	タキイ種苗株式会社 (代表取締役社長 滝井傳一) (京都府)
	流通・販売部門	株式会社パーク・コーポレーション (代表取締役 井上英明) (東京都)
2006 (1回)	育種・生産部門	八幡平市花き開発センター (岩手県)